

研究機関：広島大学

研究課題名 包括的チーム介入実施施設における入院加療を要した症候性心不全患者の退院後の転帰に関連する要因の検討

研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科循環器内科学 教授 中野 由紀子

研究期間 2019年10月1日(倫理委員会承認後)～2025年6月30日

対象者

2016年12月から2023年12月の間に、当院の循環器内科および心臓血管外科に入院し、症候性心不全の診断がついた20歳以上の患者さん

意義・目的：

心不全に伴う入退院は患者さんの生活の質(QOL)を損なうだけでなく、多くの医療資源を消費するなど、医学的だけでなく医療経済学的な観点からも国民の大きな負担となっています。心不全の重要化予防を図るためには、多職種によるチームアプローチ、包括的心臓リハビリテーションプログラムの実施の必要性が診療ガイドラインでも推奨されています。しかし、国内において、症候性心不全患者に対するチームアプローチの効果を検討した研究は、いまだ少ない状況にあります。

今回、包括的チーム介入実施施設における入院加療を要した症候性心不全患者の退院後1年間の転帰を明らかにする研究を計画しました。

方法

本研究は、過去に行った研究【E-613】で収集したデータ(年齢、性別、基礎疾患名、血液検査データ等)に加え、診療録(カルテ)より情報を調査して行います。

カルテから追加で収集するデータは、入院中の多職種によるケースカンファレンス開催の有無と内容、複合心血管イベントによる再入院や死亡の有無、入院中の各職種の介入内容です。加えて、診療報酬請求額を調査します(個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ)。

共同研究機関：なし

試料・情報の管理責任者

広島大学大学院医系科学研究科 循環器内科学教授 中野由紀子

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3